



秋の全国交通安全運動 ～9月21日(日)から9月30日(火)まで～

☎0967-62-0110
通報・相談110

●歩行者も交通ルールを守り、
交通事故防止に努めましょう

道路を横断するときは横断歩道を渡り、信号機のあるところではその信号に従い、安全を確認してから渡りましょう。

夜間は反射材用品を活用したり、明るい目立つ色の服装を着用しましょう。

●飲酒運転は絶対にしない、させない！

飲酒運転は交通事故に結びつく大変危険な行為です。「少ししか飲んでいない。酔っていない。少しの距離だから。」などと自分勝手な理屈で運転すると、取り返しのつかない悲惨な結果につながります。

●ながらスマホはやめましょう

運転中のスマートフォンなどの通話や注視は大変危険です。絶対にやめましょう。

●夕暮れ時は早めにライトをつけましょう

対向車や先行車がない時はハイビームを活用してください。

●運転者は、歩行者優先意識を徹底しましょう

歩行者が横断しようとしているときは、横断歩道手前で一時停止して歩行者に道を譲らなければなりません。

●「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持って
運転しましょう

妨害運転などの悪質・危険な運転をしてはいけません。

●後部座席を含めた全ての座席でシートベルトを着用し、
チャイルドシートは正しく使用しましょう



なんでも南部分署

☎0967-62-9034 火災・救急119

火災・救助・救急は「119番」です、今回は特に救急についてご説明します。

現在阿蘇郡市内(西原村を除く)で119番に電話を掛けると、阿蘇市にある通信指令室に繋がります。携帯電話からの119番も同じく阿蘇市の通信指令室に繋がりますが、町村境等(外輪山や野尻・草部地区)では隣の消防本部に繋がることもあります。しかし救急車が必要なのが「阿蘇」と判明すれば、電話を切らず阿蘇の通信指令室に転送することになります。(基本的に全国どこの消防へも転送可能)

以前は南部分署の固定電話へ直接電話して通報される方も多く、今でもたまにいらっしゃいます。

119番通報すると阿蘇市の通信指令室に繋がると説明しましたが、同時に通報した場所が地図上でわかり、そこから南部分署の救急車へ場所の地図や内容の含まれた指令がかかり出場することになります。

その為、南部分署固定電話への通報はかえって時間がかかることとなり、基本的に「119番通報」することを強くお知らせしております。

下のような症状や大けがの時は
迷わず救急車を呼びましょう

<p>顔</p> <ul style="list-style-type: none"> 顔半分が腫れにくい まぶたは、しびれる ゴックリ感 口や喉の片方が腫れる あごが痛む 見えなくなる 両目が二重に見える 顔色が明らかに悪い 	<p>おどな</p> <ul style="list-style-type: none"> 突然の激しい頭痛 突然の高熱 足元がふらふらする 突然の意識障害 突然のめまい、吐き気 突然の嘔吐 突然の呼吸困難 突然の意識消失 突然のけいこ 突然の血が止まる 突然の血が止まる 突然の血が止まる 	<p>頭</p> <ul style="list-style-type: none"> 顔を痛がって、びくびくする 顔を強くぶつけて、出血が止まらない 顔を強くぶつけて、出血が止まらない 顔を強くぶつけて、出血が止まらない
<p>手・足</p> <ul style="list-style-type: none"> 突然のしびれ 突然、力が入らなくなる 突然の激しい腹痛 突然の嘔吐 突然の血が止まる 突然の血が止まる 突然の血が止まる 	<p>おどな</p> <ul style="list-style-type: none"> 突然の激しい腹痛 突然の嘔吐 突然の血が止まる 突然の血が止まる 突然の血が止まる 突然の血が止まる 突然の血が止まる 	<p>おどな</p> <ul style="list-style-type: none"> 顔を痛がって、びくびくする 顔を強くぶつけて、出血が止まらない 顔を強くぶつけて、出血が止まらない 顔を強くぶつけて、出血が止まらない
<p>意識の障害</p> <ul style="list-style-type: none"> 意識がない(昏倒) 意識がぼんやりしている 意識が戻らない 	<p>吐き気</p> <ul style="list-style-type: none"> 吐き気 嘔吐 	<p>けいこ</p> <ul style="list-style-type: none"> けいこ けいこ
<p>けいこ</p> <ul style="list-style-type: none"> けいこ けいこ 	<p>けいこ</p> <ul style="list-style-type: none"> けいこ けいこ 	<p>けいこ</p> <ul style="list-style-type: none"> けいこ けいこ

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

現在、熊本県ではドクターヘリと防災消防ヘリを運航しており、通報の段階で明らかに重篤が疑われたり、救急隊が到着して重篤判断するとヘリコプターを通信指令室が要請します。



特にドクターヘリは熊本赤十字病院に基地があり、要請すると医師及び看護師が搭乗する為、いち早い医療介入と搬送時間が短縮されることにより救命率の向上、生命予後の改善が見込まれます。

しかし、日没以降の夜間運航はできませんので、上の図のような症状がある場合は迷わず119番に電話してください。

また、救急車を呼ぶべきか迷ったとき、病気や怪我の対処方法、応急処置の相談など救急電話相談を熊本県が開設しています。「#7119」に電話すると24時間体制で看護師が対応します。是非ご利用ください。

